

天平の風薫る 下野国分寺周辺散策イラストマップ

※地図掲載内容は2018年2月時点の内容です。発行後に内容が変更になることがありますのでご了承ください。



下野市は平成18年、南河内町・石橋町・国分寺町の合併により誕生しました。都心から約85km、栃木県の中部に位置する本市は、小金井駅・自治医大駅・石橋駅の3駅をもつ、JR宇都宮線、国道4号、新4号国道、北関東自動車道などの充実した交通網によってアクセスが容易となっております。

●の地名は大字名(旧町村名)

下野市観光協会
 〒329-0414 栃木県下野市小金井3009-12
 オアシスポップ館内 TEL.0285-39-6900

園内コース……………約2km
 お使者橋コース……………約6km
 箕輪橋コース……………約11km

親らん聖人お手植え桜
 安くて新鮮な地元野菜を求めお客様に大にぎわい
 国分寺は奈良時代、仏教の鎮護国家の思想によって、全国推定68か所に建てられた官寺。僧寺と尼寺の二寺制がとられた。

国分寺は天平の祭りの花まつり
 天平の花まつり
 春:天平の花まつり秋:菊花展・芋煮会が開かれる

下野いにしえネットワーク
 国分寺・国分寺・家師寺の下野四跡を結ぶ点と線。ネットワークづくりがスタートして、史跡の整備と史跡の路実現に向かっている。

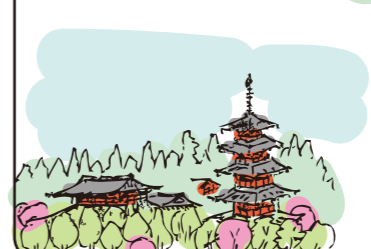
国分寺は天平の祭りの花まつり
 天平の花まつり
 春:天平の花まつり秋:菊花展・芋煮会が開かれる

下野いにしえネットワーク
 国分寺・国分寺・家師寺の下野四跡を結ぶ点と線。ネットワークづくりがスタートして、史跡の整備と史跡の路実現に向かっている。



天平の丘 歌の 散歩道

みなさんようこそ、天平の丘においでくださいました。表紙マップをご覧のように、この天平の丘一帯は天平十三年（七四四年）に聖武天皇の詔によって建立された「国分寺跡」を有し、周辺は歴史的環境に恵まれています。



このイラストマップは、わがまちの再発見をさせていただくとともに、天平の丘周辺の史跡、名所施設、歌碑、樹木に掛けた万葉銘板、由来などを案内しています。せつかくの機会に、平地林の中で本市の情緒を味わいながら、静かに歩いて季節を感じてはいかがですか。お友達をお誘いのうえ、またのお越しをお待ちしております。

- 10 銀橋 五ノ八〇三 山上 憶良 五ノ八〇三 山上 憶良 寺井の上の 堅香子の花 一九ノ四四三 大伴家持
- 9 銀も金も玉も何せむにまされる宝子にしかめやも 一ノ二 舒明天皇
- 8 (国見山) 大和には 群山あれど とりよろふ 天の香具山 登り立ち 国見をすれば 国原は煙立ち立つ 海原は鴨立ち立つ うまし国ぞ 蜻蛉島 大和の国は 一ノ二 舒明天皇 ※蜻蛉島は大和の枕詞で、豊かさに対する賛美
- 7 君待つと 我が恋ひ居れば 我が宿の 簾動かし 秋の風吹く 四ノ四八八 額田 王
- 6 ホトトギス亭 恋ふるむ鳥は 時鳥 けだしや 鳴きし 我が恋ふること 一ノ二二 額田 王
- 5 (常葉亭と万葉園) 橘は 実さへ花さへ その葉さへ 枝に霜降りれど いや常葉の木 六ノ二〇九 聖武天皇
- 4 花広場 (桜樹) 熟田津に 舟乗りせむと 月待てば 潮もかなひぬ 今は漕ぎ出でな 巻ノ八 額田 王
- 3 紫草塚 東の 野に炎の 立つ見えて かへり見すれば 月かたぶきぬ 巻ノ四八 柿本人麻呂
- 2 レストハウスしもつけ 紫草の にほゆる妹を 憎くあらば 人妻故に 我れ恋ひめやも 巻ノ二二 大海人 皇子 (後の天武天皇)
- 1 山ノ神塚 あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖振る 巻ノ二〇 額田 王



- 22 夜明け前 民俗資料館 市内の古い民家を移築。農民の生活の知恵、文化と農道具展示。木曾路はすべて山の中である。島崎藤村の小説「夜明け前」から借名。家の前に、坊ちゃん列車の停車場あり、春秋の花まつり期運行。
- 21 夜明け前 (芝桜) 桜の花とともに、春は姿川の土手に、芝桜の帯が見ごとく、しばし旅人の足をとめる。橋のたもとに姿亭がある。上流の宮前橋、箕輪橋のたもと芝桜の絨毯となる。
- 20 防人街道 霰降り 鹿島の神を 祈りつつ 皇御軍士に 我れは来にしを 二〇ノ四三七〇 常陸 大舎人部千文 愛しけ妹ぞ 屋も愛しけ 二〇ノ四三六九 同人
- 19 秋山亭 研修公園管理棟 冬こもり 春さり来れば 鳴かずありし 鳥も 来鳴きぬ 咲かずありし 花も咲けれど 山を 茂み入りても取らず 草深み 取りても見ず 秋山の 木の葉を見れば 黄葉をば 取りてぞ 偲ぶ 青きをば 置きてぞ嘆く そこし恨めし 秋山我れは 一ノ二六 額田 王
- 18 山桜群 三ツケネム 天平の丘公園内に原生していた山桜に近在の愛好家により次のような名が付けられている。
- 17 山桜群 三ツケネム 家がれば 筥に盛る飯を 草枕 旅にしあれば 椎の葉に盛る 二ノ四二 有間皇子
- 16 万葉植物園 夏の野の しげみに咲ける 姫百合の 知らえぬ恋は 苦しきものぞ 八ノ二五〇〇 大伴坂上郎女
- 15 秋萩には 恋ひ乱れ 別くことかたき 我が心かも 一〇ノ二七二 よみ人知らず
- 14 紅は うつろうものぞ 櫛の なれにし衣に なほしかめやも 一八ノ四二〇九 大伴家持
- 13 下つ毛野 みかも山の 小櫛のす ま麗し児らは 誰が筥か持たむ 一四ノ三四二四 東歌
- 12 拾珠亭 我が欲りし 野鳥は見せつ 底深き 阿胡根の浦の 玉ぞ拾はぬ 一ノ二二 中皇命
- 11 犬養孝万葉歌碑 宇し絵の原文直書) 松の木の 並みたる見れば 家人の 我れを見送ると 立たりしもころ 巻二〇ノ四三七五 下野火長 物部 真嶋 註、防人は三年間九州の要地を警備するため諸国から徴兵された。「崎守」ともいうことから辺境の守りについていた。 防人として大宰府に赴く途次、松の並木を見るたびに、それが故郷を離つとき家族や見送りの人たちが立ち並んで送つてくれた情景の如く思える。 ※もころ如くのもよだ



- 24 (土地改良記念碑) 美田になった広い地域を眺める姿亭の脇に、ユニークな「姿川東部土地改良記念碑」が建つ。 一節：太郎君も花子さんも 赤ん坊はみんな 田んぼで母さんから オツパイをもらったのさ。 その時「いそがしいんだから 早く飲め」って いわれただよ。
- 春 ● 淡墨桜岐阜県本巣市旧根尾村に伝るトヒガの子三月下旬開花 山高神代(山梨県北杜市)多樹齢千年ともいわれるトヒガの子 三春の滝桜(福島県三春町)にある八百余年の子しだれ 石割桜(盛岡市裁判所前の子)夜明け前 八重桜(普賢像、大島桜、右近桜など) 芝桜(紫草塚・山ノ神塚・姿川) ツツジ・カタクリ・ボタン
- 初夏 ● フジ(子宝橋)・山法師エゴ(シヤボン玉の木)
- 夏 ● 稚児ユリ・ギボウシ・サルズベリ・ハス
- 秋 ● リンドウ・萩
- 冬 ● 紅葉・ヤブコウジ



このならくぬぎ、えごの木あり。山桜、杉、ひのきあり、つつじ、たいさんぼくあり。手を加えない先祖からの自然木の台間に生息するキボウシ、稚児ゆり、ヤブコウジが芽を出す。静寂の中、小鳥のさえずり、蝉しぐれ、昆虫のささやきが聞こえてくる。

花の祭りのさわめきも、自然にとけて林の中は、人の心をいやす。

天平の丘周辺文化財散歩

ま	ほ	ふ	ひ	の	ぬ	に	な	と	て	つ	ち	た	そ	せ	す	し	き	け	く	き	か	お	え	う	い	あ			
古泉観音様	成就院	国分寺	蓮行寺	慈眼寺	箕輪城跡	三光神社	宮路神社	星宮神社	諏訪神社	竜神社	愛宕神社	川西神社	鶯宮神社	磐裂根裂神社	稲荷神社	三嶋神社	金井神社	五輪塔	釈迦如来坐像	釈迦如来坐像	甲塚古墳	オトカ塚古墳	山王塚古墳	愛宕塚古墳	丸塚古墳	小金井一里塚	下野国分寺跡	下野国分寺跡	下野国分寺跡
馬頭観音	真言宗豊山派国分寺	真言宗	日蓮正宗	真言宗豊山派小金山寺	浄土真宗国分寺	中世城跡	柴	柴	柴	柴	国分寺	川中子	實輪虚空蔵様	世原	小金井	本設彫刻	伝紫式部の墓	伝紫式部の墓	伝聖武天皇光明皇后行基菩薩定期様式国分寺境内	定期様式国分寺境内	帆立貝式古墳	前方後円墳	前方後円墳	前方後円墳	有段式円墳	旧日光街道日本橋より一千里	法華滅罪之寺	金光明四王護国寺	国指定

